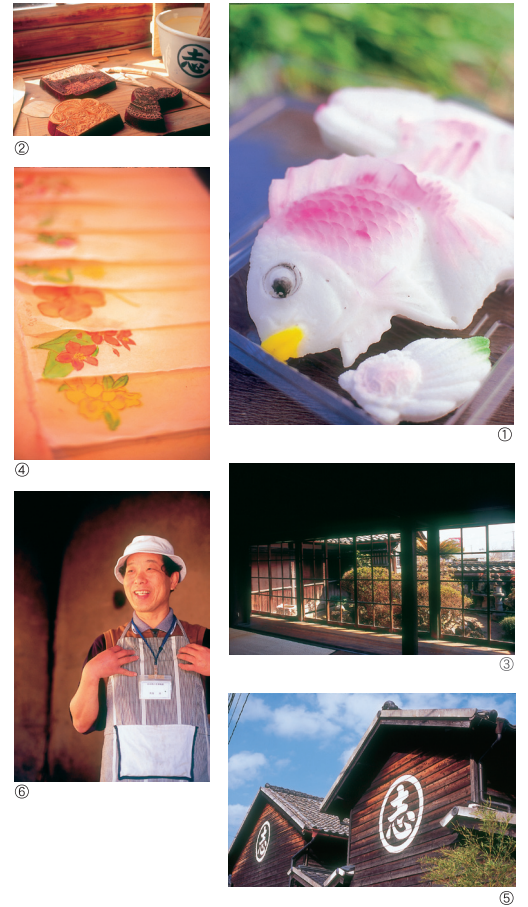


歩幅で見つけた、嬉野新景 うれしの写真館



①ハレの日に欠かせない砂糖菓子の寿賀鯛。
 ②志田焼の伝統的な道具たち。
 ③塩田の豪商の町家・西岡家。
 ④塩田の手すき和紙に野花の絵を添えて。
 ⑤国道沿に焼き物商家の蔵が並ぶ。
 ⑥志田焼の里博物館は地元の人たちが手作りで運営する。
 ⑦緑茶一服。茶香炉もアクセント。
 ⑧大正浪漫的温泉宿でうれしの紅茶を。
 ⑨有名建築家が手掛けた極上の温泉空間。
 ⑩⑪昔ながらの茶箱や色とりどりの茶筒が並ぶ製茶店にて。

フライングの向う側に、フツウの日常が新鮮に変わる瞬間が待っていた。歩くスピードで見つけた、ふだん着の嬉野。旅はもって面白く、もってステキになる。

某日・AM、晴朗。塩田町を歩く。穏やかな田園風景の中に、歴史的な商家や蔵、石像が残る。時の流れもゆったりとして、心地よいノスタルジックな鉛色の風景を彩るのは、伝統の菓子や道具たち。残っているのは、歴史だけでは足りない。それは、人の心の善良さ。塩田の人は親切に旅人を迎える。垣根のない、素朴であつたかいウエルカム。あの笑顔が心に焼き付いた。

某日・PM、花曇り。嬉野町で和みの午後。茶どころ、熟練の技が生んだ玉緑茶をひとすずり。旅の緊張がほぐれ、体が町の空気にしっとり馴染んでいく。しかしチェックインには早すぎる昼下がり。誰もいないティールラウンジでわが人生を反すうするか。いや、やはり温泉を愉しもう。宿の浴場の窓が自然の情景を切り取り、モネの睡蓮の絵のごとき大作を提示する。ああ、極楽。

うれしの歳時記

自然と歴史あふれる嬉野は、季節の表情も豊かです。いつ来ても旅のトキメキを感じられる、新鮮な出会いが待っています。

春 うれし

- 桜**
3月下旬〜4月上旬
嬉野川遊歩道・吉浦神社
- ついで**
4月下旬〜5月下旬
吉浦神社
- 藤**
4月下旬〜5月上旬
ふれあいふじ欄通り
- 吉田おやまん陶器まつり**
4月上旬 吉田血屋地区
肥前吉田焼の窯元による陶器市。通常価格よりグントとお得になります。



吉田おやまん陶器まつり 嬉野川遊歩道

うれしの茶ミント

- 4月上旬 嬉茶楽館
うれしの茶をPRするため、茶葉の手もみ美演会や茶摘み体験などを開催。
- お山さん祭り**
4月5日 吉浦神社
鍋島直澄公をしのび、郷土芸能の面浮立などを奉納。



お山さん祭り

夏 きらり

- ホタル**
5月下旬〜6月上旬
岩屋川内ダム
下吉田七ツ川内
- 土曜風鈴夜市**
7月下旬〜8月上旬の土曜
本通り商店街で肥前吉田焼の風鈴を飾り、様々なイベントを行います。
- 嬉野温泉夏祭り**
8月11日
みゆき公園
西日本最大級の二尺玉の花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩ります。



嬉野温泉夏祭り ホタル

冬 あかり

- 梅**
2月中旬〜3月上旬
みゆき公園梅林
- うれしのあつたかまつり**
2月上旬 嬉野温泉一帯
幻想的な灯籠が温泉街を彩り、郷土芸能の披露や郷土料理のふるまいも。
- 嬉野温泉梅まつり**
2月下旬〜3月上旬
みゆき公園梅林
400本の梅林園で、お菓子やお茶などが販売されます。
- ひなまつり展**
2月下旬〜3月上旬
志田焼の里博物館
館内陶芸家やサークル会員などが、陶雛や個性あふれる作品を展示。



うれしのあつたかまつり みゆき公園梅林

秋 みのり

- 紅葉**
11月
春日溪谷(嬉野町)
春日溪谷から注ぐ清流吉田川上流に位置する春日溪谷。
- 塩田くんち**
11月2・3日
塩田町上町〜下町
神輿行列が丹生神社〜下宮を1日間往復。多くの出店も並び賑わいます。
- 塩田職人博覧会**
11月2・3日 塩田津
塩田の職人たちが作品を展示。「匠の技」の実演・体験や販売などもあります。



塩田くんち 春日溪谷

- 肥前吉田焼まつり・窯元市**
11月上旬
吉田血屋 肥前吉田焼窯元会館ほか
水の神様、八大龍王さんの祭り。陶器・お茶など特産品が販売されます。
- 嬉野温泉秋まつり・産業祭・湯どうふフェスタ**
11月3日
嬉野温泉中心街
湯どうふフェスタを始め、郷土の特産品がずらりと並びます。



嬉野温泉秋まつり・産業祭・湯どうふフェスタ 肥前吉田焼まつり窯元市